

『景色』 作：ポチ子

『景色』 作：ポチ子

最後に見る景色はどんなのだろう。

出来れば夕日がいい。

私が大嫌いな夕日。

赤色に染まった部屋を見て、

この気持ち悪い色を、

もう見なくてよくなるんだって、

そう思えたら、

後悔も迷いも消えてなくなるはずだから。

最後の最後に泣くのは嫌。

『景色』 作：ポチ子

意味のない悔いばかりが頭の中を巡る。

そんな最後は嫌。

自分の幸せを思い出して、

自分の幸せを望んで、

そんな最後がいい。

嫌いな景色の中で、

好きな景色を想って、

私は消えていきたい。

— 終わり —